

[42]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339121>

出版情報：文學研究. 42, 1951-11-30. 九州文学会
バージョン：
権利関係：



(筆者は ABC 順による。)
(括弧内は 輯号を示す。)

福田良輔

春日政治

片山正雄

國松孝二

文学研究笔者别索引

小島吉雄

小牧健夫

一七九

小野 島 行 忍 リツ・カ・パンハ・スツタンタ (三) 訳・梵・サ・ハ・ラ (一〇・一一・一二) 梵・詩・メ・ガ・グ・タ (三三) 草・枕・を・ぞ・ろ・と (三三) 梵・語・奈・留・別・誌 (三四・三六)	笹 月 清 美 天・平・八・年・の・遺・新・羅・使・一・行・の・歌 (一三) 古・事・記・の・文・的・性・質・に・類・する・認・識・の・發・表 (一七) 文・芸・活・動・の・機・構・ (二二) 本・意・考・の・成・立・過・程・と・文・芸 (二三) 本・居・宣・長・の・国・語・研・究・を・示・す・二・三・の・伝・本・に・つ・い・て (二六) 富・士・谷・御・村・の・言・語・理・論・に・つ・い・て (三三) 夕・顔 (四〇)	佐 藤 通 次 世・界・の・劇・性・と・ゲ・テ・の・「フ・ア・ス・ト」 (一) 生・の・悲・極・性・ (八・九) 数・思・ふ・格・と・考・へ・る (一〇) 創・老・親・と・體・験・ (一四・一六・一七) 創・生・話・と・わ・が・民・族・の・原・體・験・ (二三) 表・現・の・二・事・論・的・的・放・造・ (二五) 文・芸・機・「見・る」と「生・む」と (二九) 歴・史・の・形・態・「フ・ア・ウ・ス・ト」研・究・に・寄・て (三一) 創・刊・の・頃・ (四〇)	進 藤 誠 一 「フイガロの結婚」とボー・マルシェー (一)
ユージエーヌ・ラビッシュの喜劇 (六) スクリープの功罪 (八・九・一〇・一一・一二) 十九世紀の功罪 (一四・一五・一六・一七・一八・一九・二〇・二一・二二・二三・二四・二五) 日本に於ける功罪 (二六・二七・二八・二九・三〇・三一・三二・三三・三四・三五・三六・三七・三八・三九・四〇・四一・四二・四三・四四・四五・四六・四七・四八・四九・五〇・五一・五二・五三・五四・五五・五六・五七・五八・五九・六〇・六一・六二・六三・六四・六五・六六・六七・六八・六九・七〇・七一・七二・七三・七四・七五・七六・七七・七八・七九・八〇・八一・八二・八三・八四・八五・八六・八七・八八・八九・九〇・九一・九二・九三・九四・九五・九六・九七・九八・九九・一〇〇) マリジェール (二九) フランスに於けるイタリア人劇団の業績 (三二・三四) 作者兼俳優 (三五) フランス最古の喜劇 (三六) モリス・ド・ロングヴィルの生涯 (四〇・四一・四二・四三・四四・四五・四六・四七・四八・四九・五〇・五一・五二・五三・五四・五五・五六・五七・五八・五九・六〇・六一・六二・六三・六四・六五・六六・六七・六八・六九・七〇・七一・七二・七三・七四・七五・七六・七七・七八・七九・八〇・八一・八二・八三・八四・八五・八六・八七・八八・八九・九〇・九一・九二・九三・九四・九五・九六・九七・九八・九九・一〇〇) 「奥の細道」制作心理 (四一) 杉 浦 正 一 郎	吉野の鮎 (二七) 国丹の放 (三〇) 牡丹の放 (三三) 玉川の放 (三五) 思出十年 (三六) 高 橋 義 孝 芸術学、芸術史における没価値性の意味 (四〇) トーマス・マンのフロイト論 (四一)	田 中 晃 表現の構造 (一八) 万葉歌人の国家思想 (二〇) 日本為の現実主義 (二二) 生成の根拠としての自然 (二五) 豊 田 實 日本に於けるシエクスピア紹介の歴史 (二) 英吉利漂流邦訳考 (四)	「奥の細道」制作心理 (四一) 高 木 市 之 助

芥川龍之介とエドガ・アラン・ポオ（七）
 基督教聖書と訳の歴史（一二）
 故坪内博士の「英文小学讀本」（一二）
 日本に於ける英文法紹介及び研究の歴史（二〇）
 俳句と英語（二三）
 生活文化の反映としての英語史緒言の一節（二六）
 言語起源の問題「英語史第一概観」の緒論（二九）
 言語通源の「英語史」の生活「大陸時代」（三一）
 人及英語の異同と国民性（三三）
 シェイクスピアの女性観（三六）
 シェイクスピアの女性観（三五）

山内晋郷

六朝時代の展望（二）
 牟子問題の清算（四・五・六）
 王鳴盛氏の「通鑑」の意義（二）

矢田部達郎

古語に於ける「てには」の意義（三二）

吉町義雄

「物類称呼」西国方言索引（一）
 九州方言の特異性（二・三・五）
 島津齊彬の「ローマ日記」と長田蘊の「菊池俗言考」（七）
 博多語動詞の現形と活用一段化趨勢（一〇）
 日本語動詞の現形と活用一段化趨勢（一〇）
 九州方言四段活用動詞分布相（二二・二四・二六）
 紫雲人鹿見島方言文学四書抄（二八）
 施福多「日本文庫及び日本文学研究提要」（三〇・三二）
 大和口上言葉集（三四）

「文学研究」発行年月一覽表

九州方言風俗推量・打滑助詞活用分布相（三六）	上海刊行日本語文典（三五）
九州方言指定制・打滑助詞活用分布相（三八）	九州方言指定制・打滑助詞活用分布相（三八）
九州方言敬讓・希求助動詞活用分布相（四一）	九州方言敬讓・希求助動詞活用分布相（四一）
第一輯 昭和七年三月	第一輯 昭和七年三月
第二輯 昭和七年十月	第二輯 昭和七年十月
第三輯 昭和八年二月	第三輯 昭和八年二月
第四輯 昭和八年七月	第四輯 昭和八年七月
第五輯 昭和八年十月	第五輯 昭和八年十月
第六輯 昭和九年一月	第六輯 昭和九年一月
第七輯 昭和九年五月	第七輯 昭和九年五月
第八輯 昭和九年十月	第八輯 昭和九年十月
第九輯 昭和十年四月	第九輯 昭和十年四月
第十輯 昭和十年七月	第十輯 昭和十年七月
第十一輯 昭和十年十月	第十一輯 昭和十年十月
第十二輯 昭和十年十二月	第十二輯 昭和十年十二月
第十三輯 昭和十一年四月	第十三輯 昭和十一年四月
第十四輯 昭和十一年七月	第十四輯 昭和十一年七月
第十五輯 昭和十一年十月	第十五輯 昭和十一年十月
第十六輯 昭和十一年十二月	第十六輯 昭和十一年十二月
第十七輯 昭和十二年五月	第十七輯 昭和十二年五月
第十八輯 昭和十二年十月	第十八輯 昭和十二年十月
第十九輯 昭和十二年十二月	第十九輯 昭和十二年十二月
第二十輯 昭和十三年三月	第二十輯 昭和十三年三月
第二十一輯 昭和十三年六月	第二十一輯 昭和十三年六月
第二十二輯 昭和十三年九月	第二十二輯 昭和十三年九月
第二十三輯 昭和十三年十二月	第二十三輯 昭和十三年十二月
第二十四輯 昭和十四年三月	第二十四輯 昭和十四年三月
第二十五輯 昭和十四年六月	第二十五輯 昭和十四年六月
第二十六輯 昭和十四年九月	第二十六輯 昭和十四年九月
第二十七輯 昭和十四年十二月	第二十七輯 昭和十四年十二月
第二十八輯 昭和十五年三月	第二十八輯 昭和十五年三月
第二十九輯 昭和十五年六月	第二十九輯 昭和十五年六月
第三十輯 昭和十五年九月	第三十輯 昭和十五年九月
第三十一輯 昭和十五年十二月	第三十一輯 昭和十五年十二月
第三十二輯 昭和十六年三月	第三十二輯 昭和十六年三月
第三十三輯 昭和十六年六月	第三十三輯 昭和十六年六月
第三十四輯 昭和十六年九月	第三十四輯 昭和十六年九月
第三十五輯 昭和十六年十二月	第三十五輯 昭和十六年十二月
第三十六輯 昭和十七年三月	第三十六輯 昭和十七年三月
第三十七輯 昭和十七年六月	第三十七輯 昭和十七年六月
第三十八輯 昭和十七年九月	第三十八輯 昭和十七年九月
第三十九輯 昭和十七年十二月	第三十九輯 昭和十七年十二月
第四十輯 昭和十八年三月	第四十輯 昭和十八年三月
第四十一輯 昭和十八年六月	第四十一輯 昭和十八年六月
第四十二輯 昭和十八年九月	第四十二輯 昭和十八年九月
第四十三輯 昭和十八年十二月	第四十三輯 昭和十八年十二月
第四十四輯 昭和十九年三月	第四十四輯 昭和十九年三月
第四十五輯 昭和十九年六月	第四十五輯 昭和十九年六月
第四十六輯 昭和十九年九月	第四十六輯 昭和十九年九月
第四十七輯 昭和十九年十二月	第四十七輯 昭和十九年十二月
第四十八輯 昭和二十年三月	第四十八輯 昭和二十年三月
第四十九輯 昭和二十年六月	第四十九輯 昭和二十年六月
第五十輯 昭和二十年九月	第五十輯 昭和二十年九月
第五十一輯 昭和二十年十二月	第五十一輯 昭和二十年十二月
第五十二輯 昭和二十一年三月	第五十二輯 昭和二十一年三月
第五十三輯 昭和二十一年六月	第五十三輯 昭和二十一年六月
第五十四輯 昭和二十一年九月	第五十四輯 昭和二十一年九月
第五十五輯 昭和二十一年十二月	第五十五輯 昭和二十一年十二月
第五十六輯 昭和二十二年三月	第五十六輯 昭和二十二年三月
第五十七輯 昭和二十二年六月	第五十七輯 昭和二十二年六月
第五十八輯 昭和二十二年九月	第五十八輯 昭和二十二年九月
第五十九輯 昭和二十二年十二月	第五十九輯 昭和二十二年十二月
第六十輯 昭和二十三年三月	第六十輯 昭和二十三年三月
第六十一輯 昭和二十三年六月	第六十一輯 昭和二十三年六月
第六十二輯 昭和二十三年九月	第六十二輯 昭和二十三年九月
第六十三輯 昭和二十三年十二月	第六十三輯 昭和二十三年十二月
第六十四輯 昭和二十四年三月	第六十四輯 昭和二十四年三月
第六十五輯 昭和二十四年六月	第六十五輯 昭和二十四年六月
第六十六輯 昭和二十四年九月	第六十六輯 昭和二十四年九月
第六十七輯 昭和二十四年十二月	第六十七輯 昭和二十四年十二月
第六十八輯 昭和二十五年三月	第六十八輯 昭和二十五年三月
第六十九輯 昭和二十五年六月	第六十九輯 昭和二十五年六月
第七十輯 昭和二十五年九月	第七十輯 昭和二十五年九月
第七十一輯 昭和二十五年十二月	第七十一輯 昭和二十五年十二月
第七十二輯 昭和二十六年三月	第七十二輯 昭和二十六年三月
第七十三輯 昭和二十六年六月	第七十三輯 昭和二十六年六月
第七十四輯 昭和二十六年九月	第七十四輯 昭和二十六年九月
第七十五輯 昭和二十六年十二月	第七十五輯 昭和二十六年十二月
第七十六輯 昭和二十七年三月	第七十六輯 昭和二十七年三月
第七十七輯 昭和二十七年六月	第七十七輯 昭和二十七年六月
第七十八輯 昭和二十七年九月	第七十八輯 昭和二十七年九月
第七十九輯 昭和二十七年十二月	第七十九輯 昭和二十七年十二月
第八十輯 昭和二十八年三月	第八十輯 昭和二十八年三月
第八十一輯 昭和二十八年六月	第八十一輯 昭和二十八年六月
第八十二輯 昭和二十八年九月	第八十二輯 昭和二十八年九月
第八十三輯 昭和二十八年十二月	第八十三輯 昭和二十八年十二月
第八十四輯 昭和二十九年三月	第八十四輯 昭和二十九年三月
第八十五輯 昭和二十九年六月	第八十五輯 昭和二十九年六月
第八十六輯 昭和二十九年九月	第八十六輯 昭和二十九年九月
第八十七輯 昭和二十九年十二月	第八十七輯 昭和二十九年十二月
第八十八輯 昭和三十年三月	第八十八輯 昭和三十年三月
第八十九輯 昭和三十年六月	第八十九輯 昭和三十年六月
第九十輯 昭和三十年九月	第九十輯 昭和三十年九月
第九十一輯 昭和三十年十二月	第九十一輯 昭和三十年十二月
第九十二輯 昭和三十一年三月	第九十二輯 昭和三十一年三月
第九十三輯 昭和三十一年六月	第九十三輯 昭和三十一年六月
第九十四輯 昭和三十一年九月	第九十四輯 昭和三十一年九月
第九十五輯 昭和三十一年十二月	第九十五輯 昭和三十一年十二月
第九十六輯 昭和三十二年三月	第九十六輯 昭和三十二年三月
第九十七輯 昭和三十二年六月	第九十七輯 昭和三十二年六月
第九十八輯 昭和三十二年九月	第九十八輯 昭和三十二年九月
第九十九輯 昭和三十二年十二月	第九十九輯 昭和三十二年十二月
第一百輯 昭和三十三年三月	第一百輯 昭和三十三年三月